

東北管区行政評価局長表彰を受賞

行政相談員が町長に報告

当町の行政相談員である藪田由比子氏と秋元武弘氏の長年にわたる活躍に対し、総務省東北管区行政評価局(青森行政評価事務所)から表彰状が授与されました。

6月4日(木)に小野町長を訪問し、報告しました。受賞した秋元氏は「身が引き締まる思いだ。大変だが意味のある仕事。これからも続けて行きたい」と語っていました。



報告を受けて町長は「とても喜ばしく誇りに思う。現役で叙勲が授与されるのは珍しい。それだけの仕事をしてきたということ。これからもがんばってほしい」と激励しました。

瑞宝単光章授与

石川一さんが町長を訪問

今年の春の叙勲で瑞宝単光章を授与された石川一氏(豊岡出身)が、6月15日(月)に小野町長を訪問し報告しました。

石川氏は、技術専門学校卒業後、建設会社や工務店で働き、現在は(株)吉田工務店職長を務めています。これまでに、優秀施工者国土交通大臣顕彰など様々な賞を受賞しています。春の叙勲では、専門的な工事業務の功労が認められ、瑞宝単光章の授与となりました。

全国大会初優勝!

津軽相撲甚句会が全国大会で優勝

津軽相撲甚句会(会長・長利忠道)が、5月30日(土)に東京都で開かれた相撲甚句全国大会で初優勝を果たしました。

6月4日(木)に小野町長を訪問し、報告をしました。これを受けて町長は「全国大会で優勝とはすばらしい。相撲が盛んな町で相撲甚句も1番になった。ぜひ2連覇をめざしてほしい」と激励しました。

メンバーの鳴海さんは「歌はもちろん、動作も採点の対象となるため、何度も練習した。目標は入賞だったが、優勝できてとても嬉しい。来年もがんばりたい」と抱負を述べました。



1票捨てないで

県知事選で呼びかけ

町明るい選挙推進協議会(会長・野上慶子)と町老人クラブ連合会(会長・中村盛江)が、6月7日投開票の青森県知事選の期間中に、投票を呼びかけました。

この呼びかけは、老人クラブが青森県の低投票率を危惧し、自分たちにできないかと始めたもので、5月24日(日)に小泊地域の5か所で、5月29日(金)には中里地域のショッピングセンター「ベル」、町特産物直売所「ピュア」でそれぞれ行われました。両地域合わせて約30人が参加した呼びかけでは、投票日が書かれたティッシュを配り、大事な1票を捨てないよう、有権者に訴えていました。

アロマに癒される

教育委員会がアロマ講座

子育てや育児で感じたストレスをアロマを使って癒そうと、町教育委員会と弘前大学生涯学習教育研究センターが、こころスッキリアロマ体験講座を開催しました。

6月9日(火)は中里地域で、6月16日(火)には小泊地域で行われ、合わせて約30人が参加しました。講座は、講師のアロマセラピストの原田光子さん(青森市)が精油について説明、その後、受講者に好きな香りを選んでもらい、フレッシュナーを作成。最後にホバオイルを使用してのハンドマッサージを行いました。

受講者らは「植物の香りがとてもリラックスできる。思っていたよりも簡単に作ることができるので、家でも作ってみたい」と話していました。



美味しく育って!

中里小5年生が田植え体験

中里小学校5年生が5月25日(月)、小野大海さん(八幡)の田んぼを利用し、田植え体験を行いました。

最初は足をとられ、うまく苗を植えることができませんでしたでしたが、慣れてくると大人顔負けの早さで植えていました。

田植え体験をした児童らは「最初は泥の感触が気持ち悪かったけど、慣れると気持ちよく楽しかった。まだまだ植えたかった」と楽しそうに話していました。秋にはこの稲を刈り、みんなでご飯を炊いて食べるそうです。



青空の下でナイスショット

中泊町町長杯グラウンド・ゴルフ大会

体力増進と健康維持、愛好者相互の親睦を目的に、町グラウンド・ゴルフ協会(会長・鈴木喜代三郎)が6月16日(火)、町運動公園で中泊町町長杯グラウンド・ゴルフ大会を開催しました。快晴となったこの日は、青森市、大鰐町など11市町村から16団体、選手203人が参加しました。

開会式では、小野町長が「今日は絶好のグラウンドゴルフ日和。優勝目指してがんばってください」とあいさつしました。選手たちは、全24ホールのコースを周り、プレーに臨みました。「惜しい。ナイスショット」など声を掛け合いながら、気持ちのいい汗をながしていました。

■大会結果

総合優勝…岩谷弘子(弘前つがる) 町選手結果…女子5位・古川キサ



魚礁・漁場ってなに？

小泊小学校が魚礁・漁場の学習会

魚礁・漁場について学ぼうと小泊小学校5年生が、6月19日(金)に小泊海域漁港漁場環境公共推進協議会が開催した環境公共(環境に貢献する農林水産公共事業)で行う小泊漁港の学習会に参加しました。

学習会は、漁場や魚礁の作り方の説明からスタート。児童たちは真剣に話を聞き、メモをとっていました。その後は、実際に魚礁が作られている場所に移動し、サザエのつぼ焼きを食べたり、地元で獲れた様々な魚介類とのふれあい体験をしました。全国で初となる形の魚礁を見学し、説明の途中で「さて、重さはどれくらいでしょう」と聞かれると、児童らは一斉に「5.5トン」と答え、周りの大人たちを感心させていました。最後に、齋勝建設小泊出張所長さんの厚意で記念に魚礁に名前や絵を描かせてもらい、特別な魚礁が完成しました。



町の上下水道を学ぶ

薄市小5年ふるさと何でも学習

薄市小5年生7人が6月18日(木)、町や学校周辺の上下水道の状況を学びました。上水道については、町浄水場を見学し、中里地域はダムではなく地下水を活用しているなど職員の説明を受けました。続いて、豊岡の下水処理場へ移動し、設備の説明や町の下水道の整備状況などの説明を受けました。

児童らは「いつも飲んでいる水のことや、排水がどこにいくのか勉強になった」と話していました。

声援に笑顔でこたえながら

中里小なにもささパレード

汗ばむ陽気となった5月30日(土)、わんぱく広場から津軽中里駅まで、中里小学校の全校児童がなにもささパレードを行いました。

この行事は運動会の前日に毎年実施しています。今年は中里こども園の園児たちも応援にかけつけました。自分のお兄さんやお姉さんを見つけては名前を呼び、手を振りながら「がんばれ」と声をかけていました。児童たちは少し恥ずかしそうにしながらも、笑顔でパレードしていました。



ゴミの「へんしん」覚えよう

こども園こどまりで環境教室

クロネコヤマトのつがる西北ブロック女性リーダーが社会貢献活動の一環として、6月8日(月)こども園こどまりで環境教室を行いました。ゴミの種類や「へんしん(リサイクル)」の勉強をした後に、実際にゴミの分別に挑戦しました。その後、「へんしん」パネルクイズを行うと、園児たちはみな一斉に手を上げていました。最後に「お家でもきちんとゴミを分けて捨てられますか」と聞かれると、みんなで元気よく「はい」と返事していました。



今年はお泊小へ

第11回中泊町チャリティゴルフ大会

町の児童生徒の健全育成支援をしようと第11回を迎える中泊町チャリティゴルフ大会が、6月27日(土)ナクア白神ゴルフコースで行われました。当日は、あいにくの雨模様となりましたが、町内外から80人のゴルファーが参加しました。

プレー後は、町中央公民館で表彰式が開かれ、下山実行委員長から加藤教育長へこの日のチャリティ金10万円の目録が手渡されました。今年度は小泊小学校で活用されます。

■大会成績

Aクラス優勝…野上昇一、Bクラス優勝…小寺也人、女子の部…木村文子
団体優勝…齋勝建設A(齋藤彰浩、神郁夫、佐々木正典、秋元肇)



中泊町プレミアム商品券

商工会が商品券発売

町の経済活性化を目的としたプレミアム商品券の販売が、6月27日(土)～28日(日)に町文化センターパルナスで行われました。

あいにく大雨となりましたが、朝から大勢の町民が訪れ、長蛇の列を作りました。購入した人は「早く来たつもりだったが、それよりも早く来ている人がいておどろいた。商品券はすぐ使ってしまうと思う」と笑いながら話していました。

感謝の気持ちでボランティア

竹内企業グループが地域の清掃活動

竹内企業グループの従業員らが、6月13日(土)武田地区を中心に町内で清掃ボランティア活動を行いました。この日は、280人が参加し、道路脇や側溝に捨てられたペットボトルや空き缶を拾いました。清掃活動が終わると、町文化センターパルナスで安全研修会や安全大会を行いました。

参加した人たちは「ゴミの量は少なかった。ゴミの量がゼロになる事を目指して、今後も続けていきたい」と語っていました。



開幕戦は無限会の勝利

小泊ナイター野球開幕

3チーム(イカーズ・無限会・メッツ)がリーグ戦で争う毎年恒例の小泊ナイター野球。6月8日(月)小泊ふれあい運動場で、開幕戦が行われました。今年で22回目となる開幕戦は、昨年の優勝チームの無限会とメッツ。無限会伊藤投手とメッツ大川投手が先発し、1回で15点を取った無限会が15-9で勝利しました。この日は晴れとなり、選手たちは気持ちのいい汗を流していました。試合終了後、各チームは祝勝会、反省会を行ったそうです。